

第5回東京イミグレーション・フォーラム基調講演 2025年12月10日

御列席の皆様、

第5回東京イミグレーション・フォーラムにて御挨拶できますことを光栄に存じます。

法務省及び出入国在留管理庁においては、この重要なフォーラムを開催されたことに感謝します。また、国際移住機関（国連IOM）にも参加の機会をいただき、厚く御礼申し上げます。

私たちは、大きな変革の時代に立ち会っています。

各国が高齢化と労働力不足といった課題を抱える一方で、国境を越えた人の移動は増加し、人々は新たな機会や紛争からの避難を求めています。

移住は、安全かつ正規で、秩序あることが極めて重要です。

そのためには、効率的で安全な、人権に基づく移住システムの構築が求められ、テクノロジーの有効活用が、これを実現する一助となります。

統合データシステム、生体認証、リスクに基づいたスクリーニングは、処理の迅速化と安全性の向上を可能にし、職員と移民の負担を軽減することができます。これらのイノベーションを機能させるためには、実施する専門能力のある人材の育成にも注力する必要があります。人材育成により、国境管理に当たる職員は、技術上のリテラシーや手続上の専門知識のみならず、異文化に対する理解も深めることができます。

国連IOMは、世界中の入管当局と緊密に連携しつつ、これらの課題の解決に取り組んでいます。

我々は、加盟国に対し、スタンダードな技術の採用や、安全な渡航書類の導入、電子旅券や電子査証のシステムなどのデジタル・ソリューションの推進を支援しています。

パラオとトンガにおいては、電子旅券により、社会的に弱い立場の人々を含め、誰もが安全な渡航書類を利用できるようになっています。

テクノロジーと十分な訓練を受けた職員によって、各国はより効率的で安全なシステムを構築し、同時に人々を保護するために協力することが容易となります。

密入国対策のためのデータ交換ソリューションや、太平洋地域における報告・情報共有プラットフォームといった取組は、データの相互運用とリアルタイムの連携を可能にし

ています。

御列席の皆様、移住は適切に管理されれば、個人、コミュニティ及び社会に利益をもたらします。

私たちは、効果的なシステム、共有する価値観、そして強固なパートナーシップを通じ、これらを実現することが可能です。

国連 I O M は、日本をはじめとするすべてのパートナーと連携し、より良い解決策の実現を目指して取り組み続けます。人の移動は、イノベーションと協力に支えられた、正規で透明性のある人道的な経路を通じて管理され得るものであり、またそうあるべきです。

ありがとうございました。